出雲総合芸術文化祭

バラエティに富んだ、数々の舞台芸術や伝統芸能などの優れた芸術文化に触れる機会を、年間を通じて提供します。

文化スポーツ課 ☎21−6514
（公財）出雲市芸術文化振興財団（出雲交流会館）☎21−7580

（公財）出雲市芸術文化振興財団のホームページ（http://izumo-zaidan.jp）も、あわせてご覧ください。

大社文化プレイスうらら館

おたずね／出雲芸術アカデミー事務局 ☎21-6371

出雲芸術アカデミー音楽院 うたなかまこんさーと2017～おんがくのほん

チケット好評発売中

神話劇「しろうさぎ と さめさめどん」に、今回初出演のジュニア日本文化講座受講者も加わり、子どもたちのかわいい演技と日本文化が楽しめる、新たな“おんがくのほん”が生まれました！講師による音楽物語「ブレーメンの音楽隊」との２本立て！ どうぞお楽しみに！

◆と　き／１月29日（日）
10:45開演（10:20開場） 12:00終演予定
◆出　演／出雲芸術アカデミー音楽院受講者（幼児科親子リトミックコース・本科リトミックコース・ジュニア日本文化講座）、出雲芸術アカデミー音楽院講師
◆入場料（全席自由）／小学生以上500円（当日600円）
※就学前のお子様は無料
◆プレイガイド／大社文化プレイスうらら館、出雲市民会館ほか

ビッグハート出雲

おたずね／出雲交流会館 ☎21-7580

第18回 工芸展

作品募集

◆と　き／３月３日（金）～５日（日）
◆出品点数／１人１点（組）
〔規格〕工芸品として認められるもので、３年以内に作成した自作の作品。ただし、創作性の希薄なもの（摸作・複製的傾向の強い作品など）、審査のある作品展等に出品したものや特別な展示を要するもの、取り扱いが極端に困難なものは除きます。

◆出品料／1,000円（搬入時に）
◆申込用紙設置場所・提出先／出雲交流会館、各コミュニティセンター
◆申込期限／１月31日（火）

市役所ロビー

おたずね・出演の申込み／出雲芸術アカデミー事務局 ☎21-6371

第76回 出雲市役所 ロビーコンサート

地域で活動する音楽家や愛好家等によるミニコンサート
◆と　き／１月25日（水） 12:20～12:50
◆出　演／［リコーダー・アンサンブル］
森山貴宏、桑原知穂、錦織知夏、秦慎ノ介

平田本陣記念館

開館時間／9:00～17:00 休館日／火曜日 おたずね／☎62-5090

没後80年 小村大雲×落合朗風 ―館蔵品を中心に―

郷土ゆかりの日本画家 小村大雲（おむらたいうん）と落合朗風（おちあいろうふう）の回顧展。同時代に生き、それぞれの画境を築いたふたりの画家をあらためて顕彰します。
◆と　き／２月25日（土） ～３月26日（日）
◆入館料／一般500円（20名以上の団体は400円）※高校生以下無料

「室内静物Ａ」落合朗風

「一品当朝（いっぽんとうちょう）」小村大雲

関連事業

おたずね・申込み／出雲文化伝承館 ☎21-2460・平田本陣記念館 ☎62-5090

掛軸の取扱い方教室

掛軸の取扱い方をわかりやすく解説します。実習もあります。

◆と　き／出雲文化伝承館 2月19日（日） 10:00～12:00、13:30～15:30
平田本陣記念館 3月2日（木）、12日（日）いずれも10:00～12:00
◆定　員／先着各10名（１月11日から各館で電話受付）
◆参加費／900円（各館で開催中の企画展も観覧できます。）

市民団体主催 1月の催し

催事名	と　き	ところ	料　金
2017平田青少年新春コンサート	1月9日（月・祝）	平田文化館	有 料
出雲市小中学校造形作品展	1月21日（土）・22日（日）	ビッグハート出雲	無 料

出雲大好き♥

Iターン女子の職場を訪問！

その6 うめはら りほ
梅原里歩さん
（公益財団法人 ホシザキグリーン財団）

出雲大好きIターン女性支援事業を活用している皆さんの働く姿を紹介する第6弾です。

梅原さんは、今年4月に大阪府から移住し、現在、宍道湖自然館ゴビウスで飼育員として働いています。

大阪の専門学校に通い、水族館の飼育員を目標に勉強をしました。「小さな子どもとふれあうのが好きなので、ゴビウスならたくさん関われそうだと思い、就職を決めました。」とIターンの経緯を教えてくれました。

館長の中畑勝見さんは「お客様の前で説明をする機会がありますが、表現力もあり、相手に伝わるように上手く話しています。飼育員は男性が中心でしたが、女性が入ると華やかになります。」と話します。

「自転車で通勤していますが、坂道が少なくて助かります。出雲は、大阪にはない自然が魅力的です。草の陰に隠れている生き物を探したり、鳥や動物も身近に感じられます。Iターン女子のブログにも動物のことをよく投稿しています。ブログの文章を書くのは苦手ですが、面白い出来事があると知ってほしいなと思います。」また、出雲の人については、「優しい方が多いです。来館されたお客様の前で生き物の説明をしますが、まだ緊張してしまう私に、笑顔で暖かい拍手をしてくれます。」と語る梅原さんに笑みがこぼれます。

「いずれは車を購入して、ほかの水族館までドライブがしたいです。一人暮らしにも慣れてきたので、自分の時間をマイペースに過ごしていきたいです。」と今後への想いを語ってくれました。

仕事と一人暮らしの生活を楽しんでいる梅原さん。素敵な飼育員として、そして「出雲大好きIターン女性」としての今後の活躍に期待します。

エサやりの様子

お気に入りのヒキガエルと梅原さん

出雲大好きIターン女子のみなさんのブログを「いずもな暮らし」
『FROM NOW ON , IZUMO』で公開しています。
http://izumonakurashi.jp/izumoblog/

おたずね／縁結び定住課 ☎21−6629

OH! 地産地消コーナー

まいがな出雲！

地元でとれる食材のおいしさを再発見して、積極的に消費してもらいたい！地元食材や生産者に親しみをもって、地域への愛着を深めてもらいたい！との思いで、毎月いろいろな情報をお届けします。

今月の担当　森林政策課 ☎ 21−6996

Vol.9 山の恵み「ジビエ」

皆さんは「ジビエ」という言葉を聞いたことがありますか。ジビエとは、イノシシやシカなどの野生鳥獣の肉のことです。ヨーロッパでは高級食材として愛され、伝統的な食文化として根付いています。

イノシシの骨でだしをとった「いの骨ラーメン」

近年、日本ではイノシシやシカが増えすぎてしまい、農作物などを食害したり、田畑を荒らすことが多くなり問題となっています。出雲市ではこのような被害を減らすため、イノシシやシカの捕獲を行っていますが、捕獲されたイノシシやシカを"山の恵み"として、地域おこしや特産品に活用する取組が行われています。

イノシシの骨を持つ渡部良治さん

佐田町の「みはた特産品研究会」は、イノシシの骨肉を活用した、いの骨ラーメンや、いのししコロッケを開発し、イベントでジビエ料理として提供しています。会長の渡部良治さんは、「ジビエを特産品として位置付けたい。過疎地域である佐田でのこの取組は、住民の助け合いや世代間交流にもつながっている。山間地は食材の宝の山、イノシシや山菜などの山の幸を生かし、地域活性化につなげたい。」と話してくださいました。田畑を荒らすイノシシやシカですが、山の恵みとして生かしていく取組が少しずつ広がり始めています。

恒例の「スサノオごっとこいまつり」（11月3日）でも好評でした。